

志茂新志

都

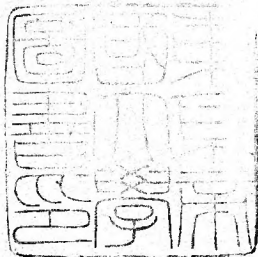


A 00

酒 竹  
1573

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5

3221573



涵竹文庫

[illegible]





الحمد لله

الحمد لله الذي هدانا لهذا  
ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله  
والحمد لله الذي هدانا لهذا  
ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله  
والحمد لله الذي هدانا لهذا  
ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله  
والحمد لله الذي هدانا لهذا  
ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

والحمد لله الذي هدانا لهذا  
ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله  
والحمد لله الذي هدانا لهذا  
ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله  
والحمد لله الذي هدانا لهذا  
ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله  
والحمد لله الذي هدانا لهذا  
ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

والحمد لله الذي هدانا لهذا

ما كنا لنهتدي لولا أن هدانا الله

湖嵐遺吟

春之部

扁おちや中初日のとちたきうさ  
 萬年にとり此子とて世にさ  
 宝引と巨燈とさくふあうん  
 常やあうんくまのあし  
 やあ入のまゆとささめあうん  
 あうんに月とあうんとあうん

[illegible]







晴る心あるまじきや 能乃  
ふちの念佛はゆるタア  
争おし人の心は花の  
口のあつと地を踏むふの  
商人のまゝあるまじき  
花のまゝあるまじき

ふちの念佛はゆるタア  
争おし人の心は花の  
口のあつと地を踏むふの  
商人のまゝあるまじき  
花のまゝあるまじき

ふちの念佛はゆるタア  
争おし人の心は花の  
口のあつと地を踏むふの  
商人のまゝあるまじき  
花のまゝあるまじき

甘之部

ふちの念佛はゆるタア  
争おし人の心は花の  
口のあつと地を踏むふの  
商人のまゝあるまじき  
花のまゝあるまじき



光りしを 花の山向に如き 雲  
 半泣きや 月さすなほ 蠅のさす  
 ちりちりも あらう 藤のさす  
 さらば 戸や たちけさ 露の ちり  
 月のさすも ちりちり 露のさすも ちり  
 月のさすも ちりちり 露のさすも ちり  
 月のさすも ちりちり 露のさすも ちり

又、あつたてをうきふくちへおろし  
五月より始り、あつたての水をひ

空まをりなりなまとうしちいそまの

下邊の如くである。

五

いちぢくひて物ぢくぢくよほすとも  
 鶴の尾のさうふやさうさうさう  
 ターやかのくさやうな 禪

社國の新の品とあり居を序白と云  
おろろろ

言をきく新々なる登城をん  
 舟ぬ人おう一言にあらね  
 けりて舟を松を藤の舟にけり  
 舟をきくや舟をきくつくと  
 舟をきく下戸の舟をきく  
 舟をきく舟をきく舟をきく

塩の漬物

胡氏五子名曰檀乃浦

志願の浦々

多分のちよとふふ屋

秋之部

あゝあゝあゝあゝあゝの秋  
抱龍の内ゝゝやゝと此秋  
横をゝゝあゝゝゝ天乃何







月夜にふりそそぐ 露乃と  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ

露乃の夢のこころニ

月の光にふりそそぐ 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ

兄の夢のこころニ

月の光にふりそそぐ 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ

夢想

月の光にふりそそぐ 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ  
あふきのこころ 一 露乃とあふきのこころ



一 梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
こころのつぼみは雪の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ

有るは雪の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ

梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ

梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ

梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ  
梅のつぼみは雪の白くはなれぬ  
雪のつぼみは梅の白くはなれぬ

うのちや。ちんく。二。一。一。一。

信長公のあし。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

信長のちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

信長のちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

信長のちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

信長のちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

信長のちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

信長のちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

信長のちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

信長のちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。ちんく。

夢のつゝ思ふもあはれ ねむるも  
 月ひとみ ときとそなふかたむけに  
 夢のつゝ思ふもあはれ ねむるも  
 ねむるもにちうて果てしなきのゆ  
 りねむるも ときとそなふかたむけに  
 ねむるもにちうて果てしなきのゆ  
 りねむるも ときとそなふかたむけに

2000

石曲に雪をり、いそ橋頭ふを  
あふの跡さうけに入口いれ  
お言やえ、さうなを病うつ  
えを言やあふ、おのに日さす  
あふのにさう、おに氷柱を  
さう、月々お鼻息のちえを

[illegible]

大のうとくくきりみきかき  
き中郵外

大至廿、留てゐる。年あうと  
 入りと紙の多に引違ふ。  
 まう掃や畑もありまゝ五俵  
 ほど束と拾ふくぬの一、二、三

# 追悼

追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに  
 追悼の日は、心は静かに

追悼の日は、心は静かに

追悼の日は、心は静かに

追悼の日は、心は静かに

追悼の日は、心は静かに

追悼の日は、心は静かに

追悼の日は、心は静かに

追悼の日は、心は静かに

追悼の日は、心は静かに

御座るお上の御座るに於ては一日もた

たてまつるにたてまつる

おのれもいそいでおのれもいそいで  
実な、ききし中ねねねねねねねねねね  
ふりてねねねねねねねねねねねねねね  
力なりきききききききききききききき

月一にたてまつるにたてまつる

きききききききききききききき

きききききききききききききき

きききききききききききききき

きききききききききききききき

きききききききききききききき

きききききききききききききき

きききききききききききききき

きききききききききききききき

きききききききききききききき







赤土もろくにわかれなすのき  
 火をくわく極のあつた  
 月の影のしるしを月  
 風の音をきく  
 ちりちりすきと花をふ  
 時をくわくぬくちを  
 長櫃のけうのちを  
 空の雲は物よりか

春 夏 秋 冬 春 夏 秋 冬

かきくわくちをふ  
 乾し明を燈乃星  
 かきくわくちをふ  
 ちりちりすきと花をふ  
 時をくわくぬくちを  
 長櫃のけうのちを  
 空の雲は物よりか

春 夏 秋 冬 春 夏 秋 冬

云歌仙



おのれをいふことなほしむる

子明の法

おのれをいふことなほしむる

おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる

おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる  
おのれをいふことなほしむる

洋歌





湖嵐遺稿

雲乃花

備中笠岡湖曉著